

I-3 職場におけるいやがらせ(ハラスメント)問題

1. 職場におけるハラスメント経験

付表 I-3-1-1 職場におけるハラスメント問題(都) (単位:件、%)

選択肢	件数	割合
問題になったことがある	225	31.9
問題になったことはないが実態としてはある	77	10.9
問題になったことも実態としてもない	396	56.1
無回答	8	1.1
全体	706	100.0

付表 I-3-1-2 問題となったハラスメント(都) (単位:件、%)

選択肢	件数	割合
セクシャルハラスメント	164	54.3
妊娠等に関するハラスメント	21	7.0
パワーハラスメント	234	77.5
その他	4	1.3
無回答	6	2.0
全体	302	100.0

付表 I-3-1-3 ハラスメントが起きたときに対応が困難と感ずること(都)(単位:件、%)

選択肢	件数	割合
事実確認が難しい	476	67.4
プライバシーの保護が難しい	301	42.6
どこまでがハラスメントに該当するか、線引きが難しい	510	72.2
被害者が嫌がっていることを加害者に理解させることが難しい	221	31.3
相談を受ける際の留意点等が分からない	67	9.5
被害者への事実確認(事情聴取)に際しての対応が難しい	205	29.0
被害者の精神的ダメージが大きい場合の対応が難しい	256	36.3
加害者への処分を含めた対応が難しい	267	37.8
顧客や取引相手が加害者の場合の対応が難しい	132	18.7
相談後の対処法が分からない	47	6.7
日常の業務が忙しいため、十分に対応する余裕がない	56	7.9
相談窓口の整備等に経費がかかるため難しい	9	1.3
その他	10	1.4
無回答	15	2.1
全体	706	100.0

資料:東京都産業労働局「令和元年度東京都男女雇用平等参画状況調査」